

年表づくりから始まった信長・秀吉・家康の学習

東京歴教協 土産田 真喜男

1. 年表を作ろう

『人物でたどる日本の歴史』（岩崎書店）の3人のページを印刷し、子どもたちに配る。それをもとにして用意したワークシートに、3人の行ってきたことなどを記入し、年表を作ることを説明する。

資料を配った後、

資料をもとにして年表を作ります。どのようなことを書き込めばいいでしょう。

と学習の目的を述べた後、

年表にはどのようなことを書き込めばいいでしょう。これは絶対書き込むべきであるというのを選びましょう。

と自分で自分が年表に書くことをノートに整理させる。おおよそ整理できたところで発表させる。作業の進み具合はまちまちであるため、教科書や参考書など、配った資料以外のことも記入してよいし、また、イラストや図などを入れてもよいとする。

2. 年表を見て考えよう

共通しているところと違うところを考える

年表を見て、3人に共通しているところを探しましょう。

と自分で、3人の武将の共通しているところを考えさせる。

・男である ・武将（大名）である ・戦さをしている ・城を造った 等
出されたものは、丁寧に扱う。

共通しているところはわかりました。違いはどんなところでしょう。

今度は違いについて考えさせる。

・生没年が違う ・信長は殺された ・秀吉は病死 ・家康は寿命 等
信長の場合は部下の明智光秀に殺されている。ここでは下剋上について触れ、それがこの時代の特徴であったことを説明する。

戦さについて考える

3人の行ってきたことで、大事だと思うことは何でしょう。

ここでは戦争を繰り返し行っていることに気づかせる。そして

それぞれの武将にとって、重要だと思われる戦さは何でしょう。

と発問する。桶狭間の戦いや山崎の戦い、関が原の戦いなどが出てくる。天下統一は数々の戦いの結果であったということに気付かせる。

事績についてまとめる

ここでは3人の武将が行った政策などについてまとめさせる。

3人の武将は、戦さ以外にどのようなことをしたのでしょうか。

楽市・楽座や検地・刀狩りなど、戦争以外のことにも目を向けさせる。しかし、小学生にはその内容一つ一つは難しいので、項目を挙げるだけでもよいとする。

戦争の本質に迫る

3人の武将が行ってきた戦さの様子は、どのようなものだったのでしょうか。

・比叡山の焼き討ち ・朝鮮出兵の残虐な行い ・大坂の陣の戦さの様子 など

天下統一の時代であっても、戦争の持つ本質は変わらない。ひどいなと思うところを考えさせる。そしてそれらの行いに対する子どもたちの感想をまとめさせる。

この授業の詳細な内容は、『歴史地理教育』 NO.761 をご覧ください。